

小学校に通っていない子どもの数*

年	人数
1989年	1億人
2017年	6300万人

学習センターで学ぶ子どもたち (パングラデシュ)

5歳の誕生日を迎える前になくなつた子ども*

年	人数
1990年	1270万人
2018年	540万人

30年前と比べると、5歳未満で亡くなる子どもの数はすいぶんへったね!早くみんなの命が守られるようになってほしいな!

この30年間の進歩

この30年間で多くの国々がこの条約に書かれている子どもの権利の実現と子どもたちが直面する問題を解決しようと、法律や政策をつくったり、予算をふやしたりしてきました。

オンラインでの暴力

年	状況	人数
約13～15歳の子どもの3人にひとり	がいじめを経験しているとの調査があります。	約3人
2005年から2015年の間に世界の難民の子どもの数は400万人から900万人、2倍になりました。	「暴力などからの保護」	2倍

手に入れることができません。*3

今的孩子を取り巻く課題

子どもを取り巻く環境はよくなっています。しかし、今もまだ権利が守られていない子どもたちがいます。

すべての子どもに、命と健康と福祉を。

年	状況	対象
24	「子どもの権利条約 第24条」「健康・医療への権利」	SDGs目標3
3	「すべての人に健康と福祉を」	「命を守られ成長できること」

どこに生まれても、その命と健康が守られるように、ユニセフは世界の子どもたちにワクチンを届けています。

予防接種をすると…

- 病気にかかるのを防ぎます
- 病気にならなければ、治療もかかりません
- 他の人に病気をうつさないで、集団感染を防ぎます

難民キャンプで予防接種を受ける1歳のキロちゃん(ヨルダン)

誰ひとり取り残さない世界をめざして

ユニセフは「子どもの権利条約」のもと、すべての子どもの権利が守られるよう、世界中で活動してきました。そして、2015年に開発目標(SDGs)も、子どもの命を守らること、子どもの権利を守ること、子どもの意見を尊重すること、子どもの差別のないことをめざしてきました。SDGsの「誰ひとり取り残さない」という理念は、すべての子どもの権利を守ることにつながっています。

SDGs目標11
「住み続けられるまちづくりを」

SDGs目標3
「命を守られ成長できること」

CRC30
子どもの権利条約
30周年

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

国連採択から30年

「子どもの権利条約」

特集

1989年11月20日、国連総会は全会一致で「子どもの権利条約」を採択しました。あれから30年、どのような変化が生まれているのでしょうか。



「子どもの権利条約」って、なあに?

すべての子どもたちが等しくもっている権利と、それを守るために人々がすべきことが定められている条約。

2019年7月現在、世界でもっと多くの国と地域(196)が入っている人権条約。

前文と54条文でできている。子どもはおとなと同じく、ひとりの人間として尊重される社会の一員。子どもであるからこそ、保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めている。



条約に入るだけでは、子どもたちの権利が実現されないように取り組むことが必要です。そして、子どもたちの権利について知り、学び、自分たちの声を伝えいくことが大切です。

命を守られ成長できること

子どもの命が守られ、生まれもった能力を最大限発揮できるように、学んだり、遊んだり、休んだりして成長できるようにする。

子どもにとって最もよいこと

子どもに関係のあることを決める時は、その子どもにとって最もいいことは何かをまず考える。

「子どもの権利条約」4つの原則

意見を表明し参加できること

子どもは自分の意見を表す権利がある。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければならない。

差別のないこと

子どもはみんな平等にこの条約に書かれている権利をもつ。子ども自身や親の人種、性別、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されない。

かわいい顔